

# 全国女子相撲選抜ひめじ大会開催時の感染防止対策

## 1 会場責任者の選任

複数名を選任する。

大会開催時に定期的に巡回を行う。

指導に従わない時には、退場を求めることができる。

## 2 受付

正面玄関で行い、37.0℃以上の者は入場を制限する。

健康観察チェックシート（選手）の回収、確認。

手指アルコール消毒。

## 3 消毒用品の常備

必要な除菌用品は主催者で用意するが、各自でも常備する。

## 4 ゴミの処理

本人が持ち帰る。

## 5 審判員

審判長、副審はマスクを着用し、主審はマウスシールドを使用する。

協議はマスク着用のまま行う。

## 6 選手について

コロナワクチンの回数は問わない。

PCR検査は不要。

選手の健康チェックシートは大会7日前より記載をすること。

これに逸脱する選手は、大会5日前のPCR検査陰性証明の提出により出場可能とする。

土俵だまり及び土俵上ではマスクを外してよいが、それ以外は着用すること。

## 7 観客について

フリーとするが、体調不良の場合は控えること。（健康チェックシートは求めない）

マスク着用での声出し応援は可とする。

## 8 その他

大会終了後1週間以内にコロナ陽性となった選手や役員は事務局に届けること。

何か不明な点があれば日本女子相撲連盟（[japan@joshisumo-renmei.jp](mailto:japan@joshisumo-renmei.jp)）までお問い合わせ下さい。

メールのみの問い合わせとします。